



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2023年1月30日

各 位

株式会社 おきぎん 経済研究所

### 【スポット調査】

沖縄県内企業における

SDGs 認知度・動向等調査

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：新垣

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

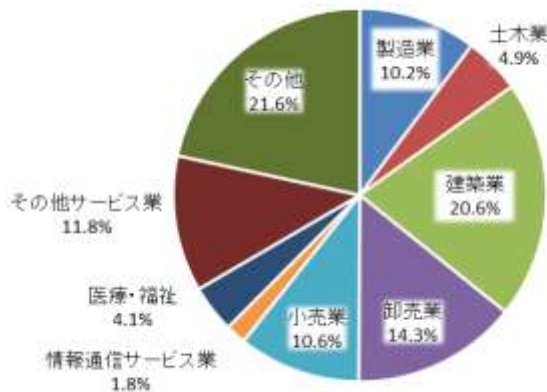
## 【スポット調査】沖縄県内企業におけるSDGs認知度・動向等調査

- 県内企業における「持続可能な開発目標（以下、SDGs）」の認知度や動向等について、「2022年10-12月期おきぎん企業動向調査【おきぎんDI】」にあわせて調査し、スポット調査として取りまとめました。  
 ※注：集計結果について、小数点第二位以下を四捨五入しており合計が一致しない場合があります

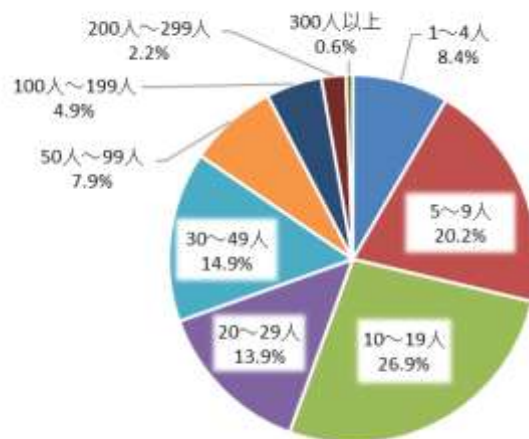
### 調査概要

- 1.調査目的：県内企業におけるSDGsの認知度や取組状況、今後の動向等について実態を把握することを目的に実施しました。
- 2.調査実施期間：2022年11月下旬～12月中旬
- 3.調査対象：県内企業 509社回答

回答企業の業種構成



回答企業の従業員規模構成



### <参考>「持続可能な開発目標（SDGs）」とは（引用：外務省 HP）

- ・ 持続可能な開発目標（SDGs）とは、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。
- ・ 17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。
- ・ SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます

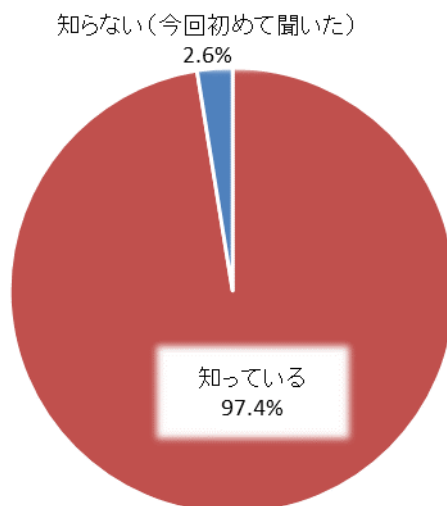


## 1. SDGs の認知度について

### ① 全体の回答結果

【SDGs という言葉を知っていますか？ (1つ選択)】という設問について、「知っている」と回答した企業は全体の 97.4%となり、「知らない (今回初めて聞いた)」との回答は 2.6%となりました。

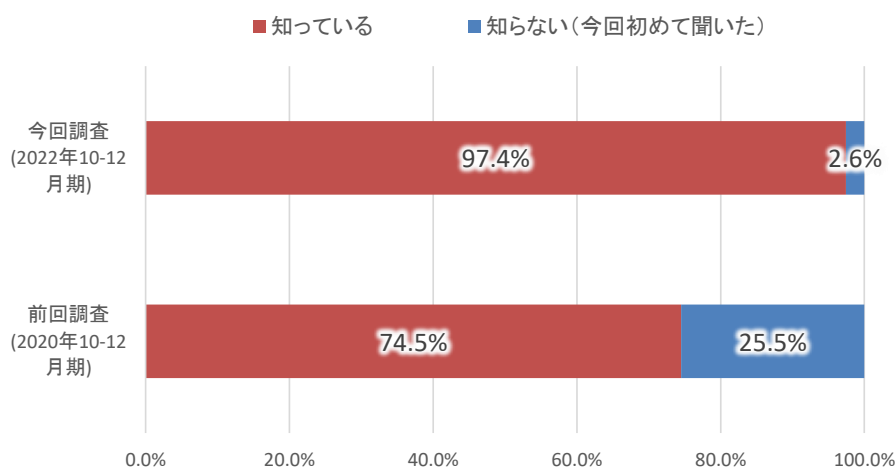
【全体】SDGs の認知度 (n=509)



### 参考

2年前 (2020年10-12月期) に行った同調査 (沖縄県内企業におけるSDGs認知度・動向等調査) の「知っている」と回答した企業の割合は74.5%となっており、本調査における認知度は22.9ポイント上昇しています。

【参考】2年前調査との比較



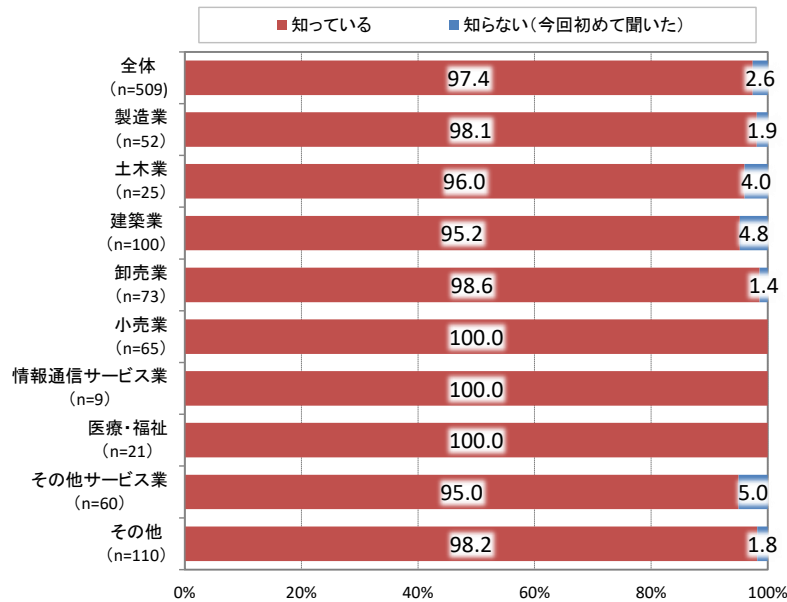
※調査対象社や対象数は異なります。

## ②業種別の回答結果

業種別の結果をみると、「知っている」と回答した割合において「小売業（100.0%）」や「情報通信サービス業（100.0%）」、「医療・福祉（100.0%）」などとなりました。

全業種が95.0%以上となっており、SDGsの認知度が全業種に浸透していることが確認できます。

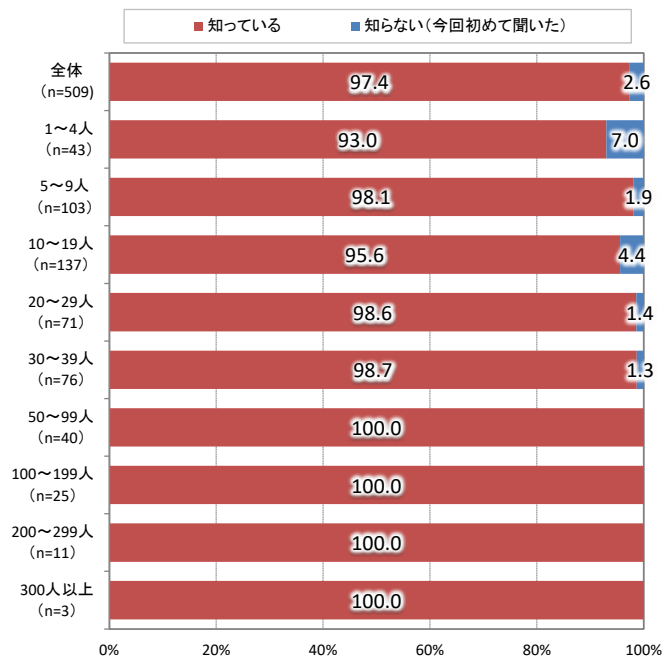
【業種別】SDGsの認知度



## ③従業員規模別の回答結果

従業員規模別の結果をみると、「知っている」と回答した割合が、「50～99人」や「100～199人」、「200～299人」、「300人以上」は100%となるなど、従業員規模が50人以上の企業においては100%認知されていることが確認できます。一方、従業員規模が「1～4人」の企業においては、「知らない」と回答した企業割合が全体と比較し高くなっています。

【従業員規模別】SDGsの認知度

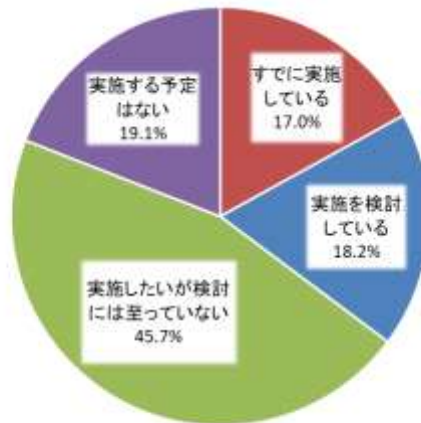


## 2. SDGs の取組状況について

### ①全体の回答結果

【SDGs の取組状況を選んでください (1つ選択) ※】という設問について、「すでに実施している」と回答した企業の割合は 17.0%となりました。「実施を検討している」との回答は 18.2%、「実施したいが検討には至っていない」との回答は 45.7%となりました。「実施する予定はない」以外の回答をした 80.9%は、SDGs の取組に少なくとも前向きな傾向にあると考えられます。

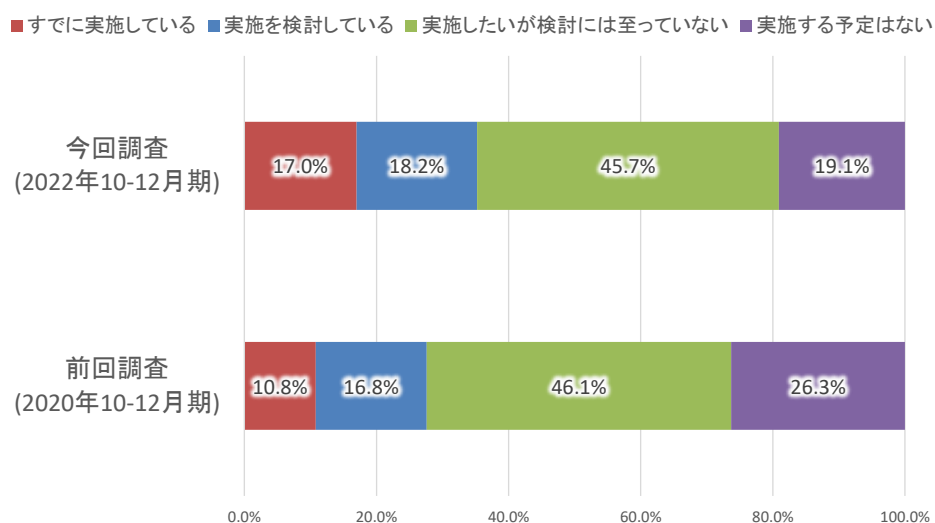
【全体】SDGs の取組状況 (n=477) ※



※ “1. SDGs の認知度” において「知っている」と回答した企業を対象。無回答除く。

### 参考

2年前（2020年10-12月期）に行った同調査の「既の実施している」と回答した企業の割合は 10.8%となっており、前回調査と比べ実施率は 6.2 ポイント上昇しています。「実施する予定はない」と回答した企業の割合は 7.2 ポイント減少しています。

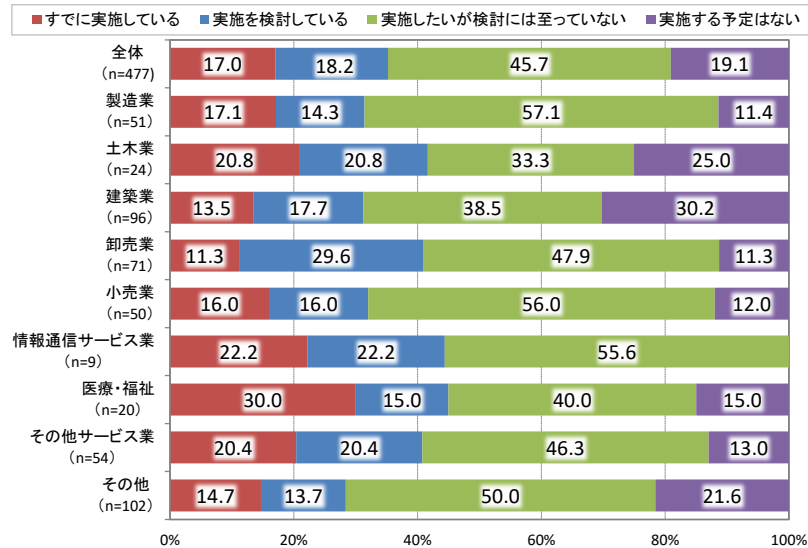


※調査対象社や対象数は異なります。

## ②業種別の回答結果

業種別の結果をみると、「すでに実施している」と回答した割合が最も高い業種は「医療・福祉(30.0%)」となっており、次いで「情報通信サービス業(22.2%)」や「土木業(20.8%)」などが続いています。一方、「実施する予定はない」と回答した割合が最も高い業種は、「建築業(30.2%)」となっており、次いで「土木業(25.0%)」や「その他(21.6%)」などが続いています。

【業種別】SDGsの取組状況\*

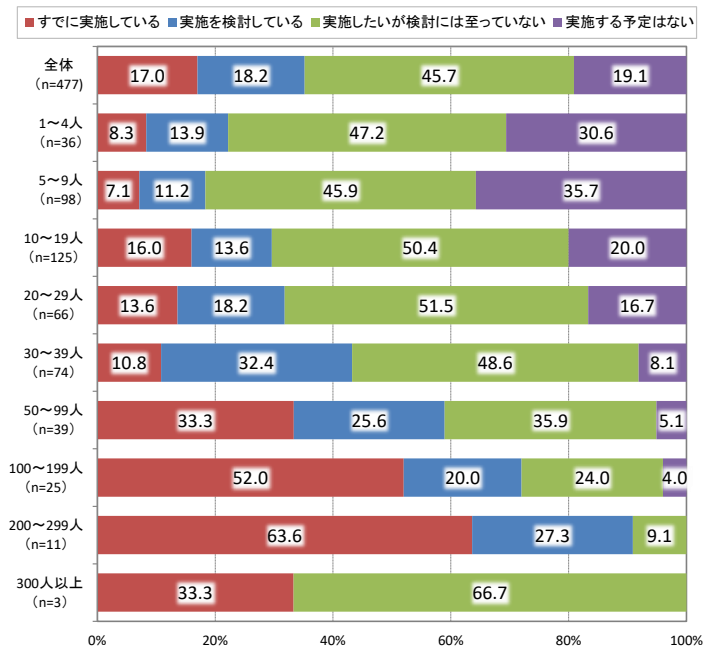


※ “1. SDGsの認知度”において「知っている」と回答した企業を対象。無回答除く。

## ③従業員規模別の回答結果

従業員規模別の結果をみると、「既にも実施している」と回答した割合は、「50～99人(33.3%)」や「100～199人(52.0%)」、「200～299人(63.6%)」、「300人以上(33.3%)」と、従業員規模が大きいと割合が高い傾向にあることが分かりました。一方、「実施する予定はない」と回答した割合が最も高いのは「5～9人(35.7%)」となり、次いで「1～4人(30.6%)」となりました。

【従業員規模別】SDGsの取組状況\*



※ “1. SDGs の認知度” において「知っている」と回答した企業を対象。無回答除く。

**参考**

【「すでに実施している」を選んだ方について、主な取組を教えてください】の任意解答欄について、下記の回答などがありました。

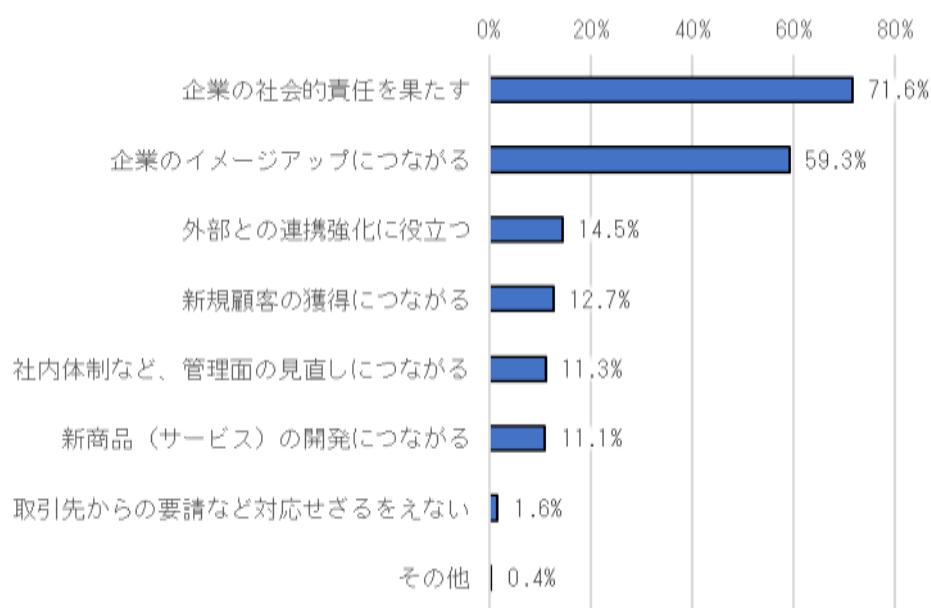
**【参考】具体的な取組内容**

業種	取組事例
製造業	廃材ロスの動物園への提供
	パン廃棄物の飼料化
	牡蠣殻を活用した商品の開発
	食品ロス対策
	ひとり親世帯への寄付(沖縄そば)
	鉄資源の循環型社会を目指す
土木業	地域ボランティア活動への積極参加
	「子供・子育て応援基金」への寄付
	募金活動へ積極的に参加
	低環境負荷型建設機械の導入
建設業	廃材のリサイクル
	ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)プランナー事業
卸売業	節電、エコカーの導入
	海の清掃
	カーボンオフセットの取組(自らが排出した温室効果ガスについて、他の場所での排出削減や吸収に貢献することを通じて埋め合わせる)
情報通信業	ペーパーレス
医療・福祉	管理職の女性割合を増やす取組
その他サービス業	プラスチックストローの廃止
	サンゴ再生支援
その他	太陽光発電
	学生服のリユース
	若者・女性活躍の推進

### 3. SDGs 実施における意義について

**【SDGs の実施にあたり意義としてあてはまる項目を選んでください（複数回答可）※】**という設問について、「企業の社会的責任を果たす（71.6%）」と回答した企業が最も多い結果となりました。次いで、「企業のイメージアップにつながる（59.3%）」、「外部との連携強化に役立つ（14.5%）」などが続いています。

SDGs 実施における意義（n=496）※



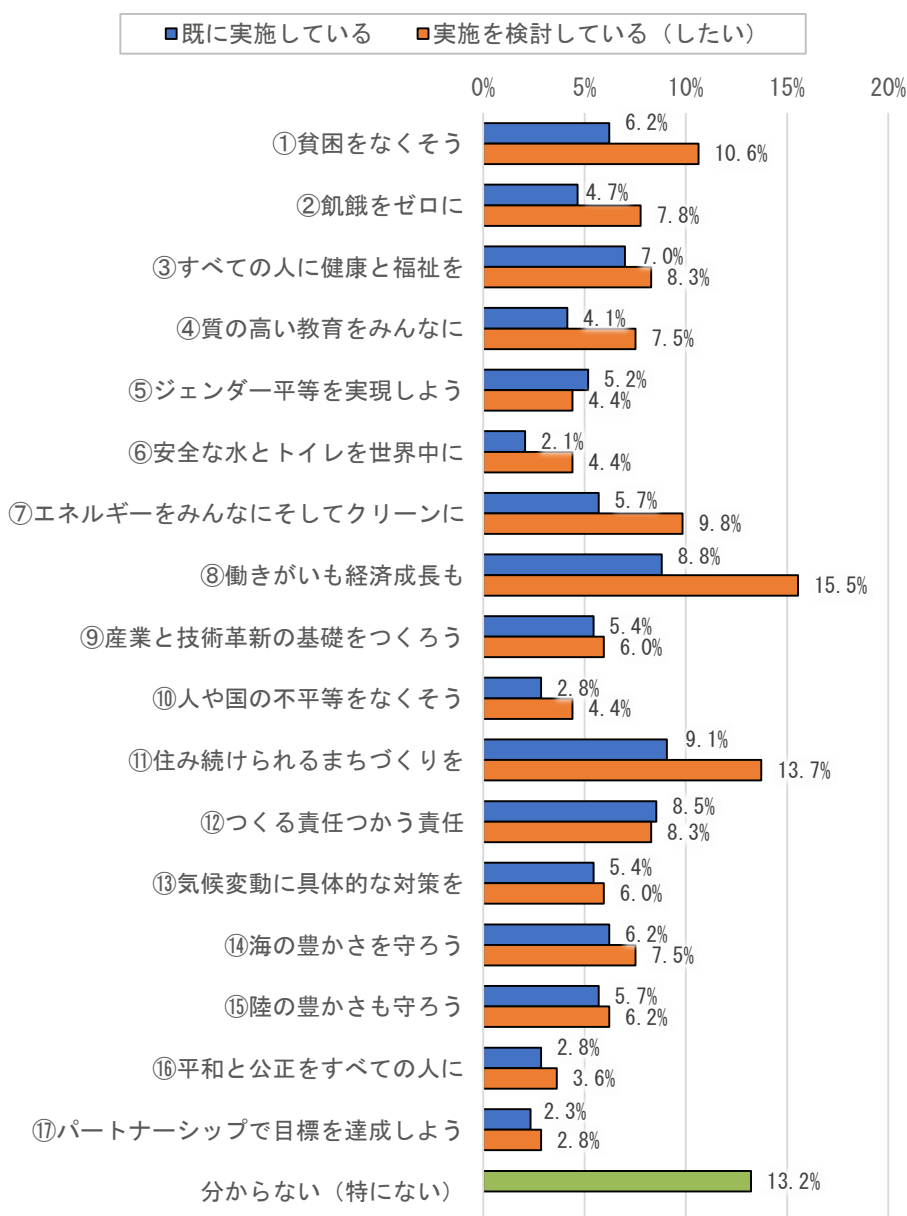
※ “1. SDGs の認知度” において「知っている」と回答した企業を対象。



#### 4. SDGs の目標別実施・検討状況について

【SDGs の 17 の目標のうち、実施（検討）している項目を選んでください。（複数回答可）※】という設問について、“既に実施している”との回答は、「⑩住み続けられるまちづくりを（9.1%）」が最も多い結果となりました。次いで、「⑧働きがいも経済成長も（8.8%）」、「⑫つくる責任つかう責任（8.5%）」、「③すべての人に健康と福祉を（7.0%）」などが続いています。“実施を検討している（したい）”との回答は、「⑧働きがいも経済成長も（15.5%）」が最も多く、次いで「⑩住み続けられるまちづくりを（13.7%）」、「①貧困をなくそう（10.6%）」、などが続いています。

SDGs の目標別実施・検討状況（n=386）※

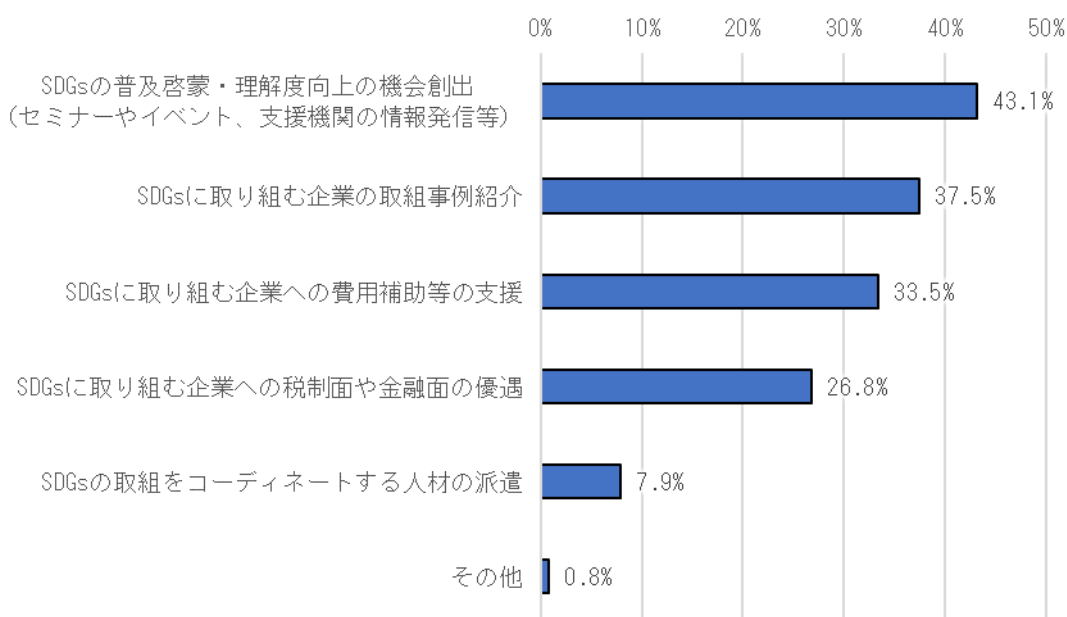


※ “1. SDGs の認知度”において「知っている」と回答し、“2. SDGs の取組状況”において「すでに実施」、「実施を検討」、「実施したいが検討に至っていない」のいずれかを回答した企業。

## 5. SDGs の普及に向けて必要な取組について

**【SDGs の普及に向けて、どのような取組が必要だと考えますか（複数回答可）※】**という設問について、「SDGs の普及啓蒙・理解度向上の機会創出（セミナーやイベント、支援機関の情報発信等）（43.1%）」と回答した企業が最も多い結果となりました。次いで、「SDGs に取り組む企業の取組事例紹介（37.5%）」、「SDGs に取り組む企業への費用補助等の支援（33.5%）」などが続いています。

SDGs の普及に向けて必要な取組（n=496）※



※ “1. SDGs の認知度” において「知っている」と回答した企業を対象。

## 6. まとめ

- SDGs に対する県内企業の認知度は 97.4%となりました。2年前（2020年10-12月期）に行った調査では 74.5%となっており、認知度は 22.9ポイント上昇しています。そのうち、「すでに実施している」と回答した企業の割合は 17.0%となり、前回調査（10.8%）と比較し 6.2ポイント上昇しています。
- 業種別に実施状況をみると、「実施する予定はない」との回答が「建築業」や「土木業」、「その他」で2割以上となっているほか、従業員規模別の結果からは、規模が小さいほど「実施する予定はない」との回答率が高い傾向がみられます。
- 「実施したいが検討には至っていない」という回答は全体の 45.7%となっており、「社会的責任を果たす」、「企業のイメージアップにつながる」といった SDGs 実施の意義は捉えているものの、実施・検討に踏み出せていない企業も多いことが考えられます。
- 今後の SDGs 普及に向けては、「SDGs の普及啓蒙・理解度向上の機会創出（セミナーやイベント、支援機関の情報発信等）」や、「SDGs に取り組む企業の取組事例紹介」などが必要な取組として挙げられています。
- 今回調査では、県内企業の SDGs に対する認知度は高まっているものの、従業員規模の小さい企業において実施に至っていない割合が高くなりました。今後 SDGs の普及に向け、企業においては取組事例などから理解をさらに深め、自社が貢献できる範囲・分野などから取り組む必要があると思われます。